

	状態	証明書を申請する際の学籍番号	発行可能な証明書	証明書上の表記に関する特記事項	証明書発行可能日	備考
1	標準修業年限(3年)に達する学期に博士学位(課程内)を取得した場合	博士後期課程の学籍番号 (43○○D●●●●)	「成績証明書」	—	成績発表日以降	
			「修了証明書」 「成績・修了証明書」	修了日は秋学期に学位を取得した場合は3/15、春学期に学位を取得した場合は9/15となる。	修了日以降	
			「学位取得証明書」	学位取得日は秋学期に学位を取得した場合は3/15、春学期に学位を取得した場合は9/15となる。	学位取得日以降	
2	標準修業年限(3年)は超えているが、在学可能年数(6年)に達するまでに博士学位(課程内)を取得した場合	博士後期課程の学籍番号 (43○○D●●●●)	「成績証明書」	—	成績発表日以降	
			「修了証明書」 「成績・修了証明書」	修了日は博士学位の授与を決定した日研運営委員会開催日となる（秋学期は2月中旬、春学期は7月下旬）。	修了日の約1か月後（秋学期は3月中旬頃、春学期は8月下旬頃）	
			「学位取得証明書」	学位取得日は博士学位の授与を決定した日研運営委員会開催日となる（秋学期は2月中旬、春学期は7月下旬）。	学位取得日の約1か月後（秋学期は3月中旬頃、春学期は8月下旬頃）	
3	在学可能年数(6年)に達し、在学年数満了による措置退学後、研究生在籍中に博士学位(課程内)を取得した場合	博士後期課程の学籍番号 (43○○D●●●●)	「成績証明書」	—	成績発表日以降	
			「退学証明書」	在学期間と「所定の研究指導を終え、博士論文の審査及び試験を除き博士後期課程の修了要件を満たした」旨が証明される。	学位取得日の約1か月後（秋学期は3月中旬頃、春学期は8月下旬頃）	博士学位授与決定後、博士後期課程正規生の時の退学理由が「在学年数満了」→「研究指導終了」に遡及して変更となります（博士学位の取得に関わらず、研究生在学中に研究指導終了となった場合も同様）。博士学位を取得した場合でも博士後期課程正規生としては「退学証明書」の発行となります。
		研究生の学籍番号 (43○○98●●●)	「成績証明書」	—	成績発表日以降	
			「在学期間証明書」	・博士学位を取得した場合、在籍終了日は博士学位の授与を決定した日研運営委員会開催日となる（秋学期は2月中旬、春学期は7月下旬）。 ・博士学位を取得しない場合、在籍期間は4月入学者は4/1～翌年3/15、9月入学者は9/21～翌年9/15となる。	・博士学位を取得した場合、学位取得日の約1か月後（秋学期は3月中旬頃、春学期は8月下旬頃） ・博士学位を取得しない場合、在籍終了日(3/15もしくは9/15)以降	研究生在学中は「在学証明書」が発行可能です。
		博士学位取得時に大学から通知される Y学籍番号 (43○○Y●●●●)	「修了証明書」	修了日は博士学位の授与を決定した日研運営委員会開催日となる（秋学期は2月中旬、春学期は7月下旬）。	修了日の約1か月後（秋学期は3月中旬頃、春学期は8月下旬頃）	
			「学位取得証明書」	学位取得日は博士学位の授与を決定した日研運営委員会開催日となる（秋学期は2月中旬、春学期は7月下旬）。	学位取得日の約1か月後（秋学期は3月中旬頃、春学期は8月下旬頃）	
4	標準修業年限(3年)以上在学し、研究指導終了による退学(措置退学)後、3年以内に博士学位(課程内)を取得した場合	博士後期課程の学籍番号 (43○○D●●●●)	「成績証明書」	—	成績発表日以降	
			「退学証明書」	在学期間と「所定の研究指導を終え、博士論文の審査及び試験を除き博士後期課程の修了要件を満たした」旨が証明される。	退学日（秋学期末退学は3/31付、春学期末退学は9/20付）以降	
		博士学位取得時に大学から通知される Y学籍番号 (43○○Y●●●●)	「修了証明書」	修了日は博士学位の授与を決定した日研運営委員会開催日となる（秋学期は2月中旬、春学期は7月下旬）。	修了日の約1か月後（秋学期は3月中旬頃、春学期は8月下旬頃）	
			「学位取得証明書」	学位取得日は博士学位の授与を決定した日研運営委員会開催日となる（秋学期は2月中旬、春学期は7月下旬）。	学位取得日の約1か月後（秋学期は3月中旬頃、春学期は8月下旬頃）	
5	論文博士	博士学位取得時に大学から通知される Y学籍番号 (43○○Y●●●●)	「学位取得証明書」	学位取得日は博士学位の授与を決定した日研運営委員会開催日となる（2月中旬頃）。	学位取得日の約1か月後（3月中旬頃）	論文博士の審査は年1回のみ実施
6	在学可能年数(6年)に達する前に自らの意思で退学(任意退学)した場合もしくは在学可能年数(6年)に達し、在学年数満了によって退学(措置退学)した場合(研究指導終了とならなかった場合)	博士後期課程の学籍番号 (43○○D●●●●)	「成績証明書」	—	成績発表日以降	
			「退学証明書」	退学理由は表示されず、退学した事実と入学年月日・退学年月日のみが表示される。	退学日（秋学期末退学は3/31付、春学期末退学は9/20付）以降	任意退学の場合で、退学日を指定した場合は、指定した退学日以降に発行可能
7	標準修業年限(3年)以上在学し、研究指導終了による退学(措置退学)となった場合	博士後期課程の学籍番号 (43○○D●●●●)	「成績証明書」	—	成績発表日以降	
			「退学証明書」	在学期間と「所定の研究指導を終え、博士論文の審査及び試験を除き博士後期課程の修了要件を満たした」旨が証明される。	退学日（秋学期末退学は3/31付、春学期末退学は9/20付）以降	